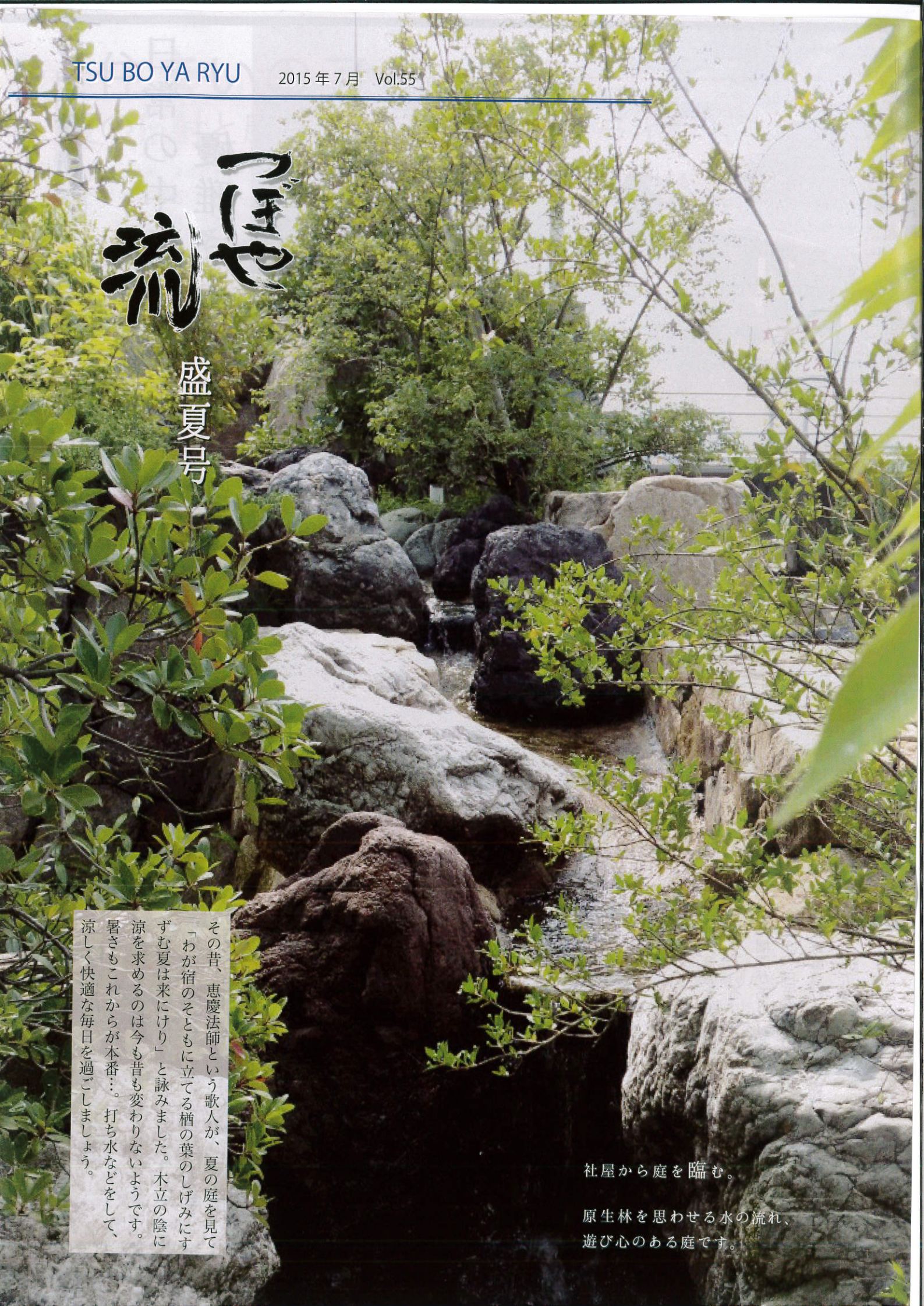
TSU BO YA RYU 2015年7月 Vol.55

つぼや流

盛夏号



その昔、恵慶法師という歌人が、夏の庭を見て「わが宿のそともに立てる楢の葉のしげみにすずむ夏は来にけり」と詠みました。木立の陰に涼を求めるのは今も昔も変わりないようです。暑さもこれからが本番…。打ち水などをして、涼しく快適な毎日を過ごしましょう。

社屋から庭を臨む。

原生林を思わせる水の流れ、
遊び心のある庭です。

お宅訪問②

日常の中に優雅さをまとう

落ち着いた雰囲気の居間（左）雪見障子を通した明かり（右上）和室（右下）

◎住宅データ◎

- 丸亀市S様邸
- 築年数：2年
- 工　法：木造平屋建て

高級料亭とみまごう「ゆとり」ある空間

静かな住宅地の一角、手入れされた庭木の間から、やわらかな明かりがこぼれる。一瞬、高級料亭にでも着いたのかと錯覚するお宅が、今回訪問したS様邸である。石畳の日本庭園を進むと、雪見障子が印象的な木造平屋建て、大和棟と呼ばれる伝統的な屋根を頂いた家が現れる。玄関は網代天井、正面には床があり、季節の花が活けられている。通して頂いたのは、畳敷きの廊下から続く居間である。土佐和紙の壁と松の丸太梁が調和し、落ち着きある雰囲気である。6畳の畳コーナーと14畳のキッチン・ダイニングにはバリアフリーでつながっている。庭のお手入れや野菜作りが趣味のご主人と、お話上手で、パッチワークなど手先が器用な奥様がお二人で暮らしており、一日の大半は居間で過ごされる。こちらのお宅のコンセプトは「明るさ」。大和棟や四方に開いた窓からやわらかな自然光を室内に入れるとともに、庭との一体感が考えられている。キッチンに立つときも木々のざわめきを感じることができ、週末に遊びにくるお孫さんたちは、畳廊下から居間、リビングと大喜びで走り回るそうだ。東側の和室は、8畳と8畳を仕切る襖を開くと圧巻の広さとなっている。畳敷きの縁側に、繊細な透かし彫りの欄間があり、知人のフランス人が訪ねてきた折には、日本建築のすごさに驚いていったそうだ。数寄屋造りの繊細さに開放感と明るさを最大限にいかした家である。

住まいのアドバイス

夏の日射と風をいかした外付けブラインド

日本では古来、すだれやよしずにより、風を通しながら、日射しをさえぎる工夫をしてきました。ただ、竹や葦のすだれを一年中付けておくのはあまり景観もよくありませんし、台風などで飛んでしまうのも心配です。今回は、主にドイツの住宅で使用される「外付けブラインド」を紹介します。その名の通り、窓の外に取り付けるブラインドで、遮熱効果が高く、室内ブラインドとの温度差が10度という研究結果もあります。

さらには角度調整により、プライバシーを守りながら外の眺望を楽しむことができるため、お隣と接近した住宅や、道路に面した場所に最適です。カラーバリエーションが豊富なことから、住宅デザインのアクセントとして取り入れる方も多いようです。

また、通常ならばブラインドを固定する場所は窓の上であり、新築の場合はよくとも、後付けすることは困難でした。しかし、セルフスタンドタイプと呼ばれる仕様では、ブラインドユニットの重い部分をカバーパネルと左右のガイドレールでしっかり支え、そのガイドレールを窓の両脇にある柱に固定することができ、リフォームにもぴったりです。

エコで、デザインと機能性を兼ね備えた外付けブラインドをぜひ一度ご検討ください。

（外付けブラインドシステム「ヴァマーレ」パンフレットより抜粋）

現場レポート

門扉から石畳を歩くと、安らぎと風情ある庭が待っています。玄関脇には外待合のある美しい家が完成しました。　善通寺市

営業さんに突撃インタビュー

営業部 顧問　　西村 涼子

趣味はガーデニングです。お客様からアイリスの球根を頂いたのをきっかけに、最近は紫陽花やオリーブの木を植えたりもしています。家づくりを通して、お客様から私自身も育てて頂ける営業の仕事が大好きです。

壺中庵だより　第2回　青野さんのお茶

小社では、お茶を大切なものと考えております。普段のお茶でも、その心は変わりません。

そんな日常のお茶に「ちゃっぱー青野」さんが畑から製茶までこだわりぬいた芽茶茎茶（めちゃくちゃ）があります。今回は、その青野さんに水出し茶の美味しい煎れ方を教えていただきました。

まず、よく冷やした水と茶葉を1対1で用意します。水の温度にもよりますが、約3～5分ほど待ちます（水は硬度30度以下のものを選ぶとよいそうです）。一煎目は茶葉が水をよく吸収するため、ほんの一滴だけですが、甘みが強くでます。続けて二煎目は水を茶葉がぎりぎりと浸るぐらいまでいれて、ほのかな苦味と深みを楽しみます。三煎目はすっきりした味わいでさっぱりと。青野さんによれば、茶の味は風景であり、一煎ごとに味が変わるのは、刻一刻と変化する自然の姿と同じだとか。実際、お茶の味と香りだけで、そのお茶がどのような土地で栽培され、作られたのかまで分かるといいます。丁寧に入れて頂いたお茶は、爽やかな香りがいつまでも口の中に残ります。

ちなみに、急須は取っ手を底にして垂直に立てたときに倒れないことで、道具としてのバランスのよさをはかることができるそうです。緑茶の清涼な味で夏の暑さをを楽しんでみませんか。

癒しの家ギャラリー

内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

色セミナー

～あなただけの「色」を見つけませんか？～

- 講師　ただみよこ様
- 日程　7月26日（日）
- 時間　13：30～
- 定員　12名様
- 参加費　500円
- 準備する物　なし

大好評セミナー第２段です。あなた自身がもつ色、一番リラックスできる色は何色でしょうか。カラーセラピストでもある「色」のプロがあなたに適した色をお教えします。初参加の方も大歓迎です。

※７月22日（水）までご予約をお願いします。

おさかな講座

～お魚伝道師による魚の見分け方・捌き方・食べ方～

- 講師　丘ノ上星子様
  （お魚伝道師　さぬきの食文化博士）
- 日程　8月23日（日）
- 時間　10：00～
- 定員　10名様
- 参加費　500円
- 準備する物　包丁・まな板・エプロン（ご用意出来る方）

大好評第２段！　ご家庭でよく口にするお魚を、より新鮮に美味しく頂きます。炭火で焼く味をご堪能ください。

※８月17日（月）までにご予約をお願いします。

◎イベントレポート◎

６月12日を持ちまして、弊社が移転して２年が経ちました。これも日頃からお世話になっているＯＢ様を始め、たくさんの方々に支えて頂いているお陰です。ありがとうございます。６月14日に開催したお客様感謝祭は、ＯＢ様だけでなく、ご近所の方にもご参加頂き、ギター弾き語り、オカリナ演奏会、落語、インドのお話会など、ゲストの方々をお招きしました。また、屋外では社員による手作り屋台でおもてなししました。本物の竹を使った流しそうめんや射的、巨大シャボン玉も大変好評を頂き、大人からお子様まで、たくさんの方に楽しんで頂ける会となりました。弊社としましても、お客様との絆を確認出来る大切な機会となりましたこと、心より感謝申し上げます。

完成見学会　現代数寄屋造りの家

高さをおさえた軒先で身をひきしめ、緊張感をもって、玄関をくぐれば、そこは柔らかな光をもつ空間です。客人をもてなすお座敷と、畳敷きの内縁。家族が集うLDKから個室は自然な流れに。「家族」との時間と「私」が交わる住み心地のよい一邸にぜひ足をお運び下さい。

- 日程　7月4日（土）5日（日）、7月11日（土）12日（日）
- 時間　10：00～17：00
- 会場　三豊市高瀬町

◎ お問い合わせは ◎

壺谷建設株式会社
〒767-0001　香川県三豊市高瀬町上高瀬4-1
TEL　0875-74-3881　　FAX　0875-74-3882
http://www.tsuboya.jp/
メールアドレス info@tsuboya.jp
一級建築士事務所／香川県知事許可（特-25）第1181号